

第一章 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョンの策定について

- 昭和57年に開館し、令和4年度には開館40周年を迎えました。この間コレクションも約500点からおよそ13,000点となり、日本・東洋古美術を中心として、国宝2点、重要文化財29点のほか西洋近代美術を擁する国内有数の美術館となりました。
- 一方、収蔵品の増加による展示スペースの不足、展示機能の向上の必要性及び収蔵庫の狭隘化、施設及び設備の老朽化が著しく、展示・収蔵施設の全面的な更新が不可欠になっています。
- 和泉市が誇る文化財産としてさらに魅力を高め発展し、存続するため、10年後を見据えた将来像を描き、目的や方針を明らかにし、活動指針となる運営ビジョンを策定するものです。

第二章 運営ビジョン策定の背景－和泉市久保惣記念美術館の歩み

1. 沿革と概要

- 明治期からおよそ100年間に渡り綿紡織業を中心に経営を続け、昭和52年に廃業した「久保惣」より、国宝、重要文化財を含む約500点と土地、建物、運営基金を地域文化の発展と地元への報恩の意を込めて和泉市に寄贈されました。
- 和泉市の中央部に位置し、昔ながらの木造家屋が残る落ち着いたまちなみが形成された地区内にあり、松尾川沿いの素晴らしい自然環境に包まれています。
- 敷地面積は約5,000坪あり、美術館本館・新館、西棟、市民ギャラリー、市民ホール、茶室、市民創作教室、研究棟で構成されています。

3. 成果と課題

成果

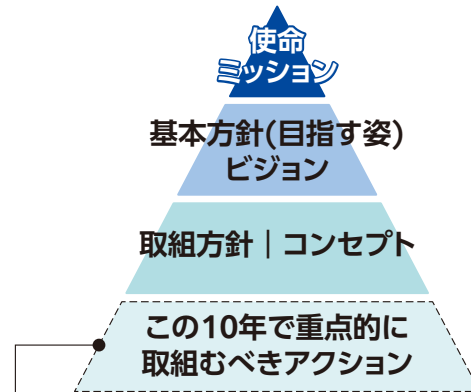
- 地域経済を支えた地元企業からの寄贈という歴史があり、収蔵品の数、質、多彩さは国内有数で、常設展、特別展に定評があります。茶室や庭園など空間がもつ魅力もあります。
- 和泉・久保惣ミュージアムタウンとしてパブリックアートやアートギャラリーなど新たな魅力が創出されました。

課題

- 大阪・関西万博を契機としたインバウンドのさらなる集客や美術館を核としたまちづくりなど多様な主体との連携が必要です。
- 施設・設備のリニューアルや来館者の属性の偏り、平日の来館者数の確保に加え、学芸員や運営財源の確保等のマネジメントの課題があります。



第三章 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン



ミッション 美術館が社会に向けて発信する新たな価値と役割とは？

- ① 多様な価値観・心の豊かさを育む美術館
- ② 未来の和泉を織りなす美術館
- ③ まちと人を紡ぐ、和泉に根ざした美術館

ビジョン 10年後美術館が目指すべき姿とは？

多様な主体が美術館のリソースを最大限に使いこなすことで美術館とまちが融和した質の高い空間を形成し、和泉の価値と創造性を高めます。

コンセプト 美術館のビジョンを達成するための具体的な取組の方針

→ 根幹・本質の磨き上げ	1. 美術品の収集、保存・活用 (デジタルアーカイブ等)	美術品の体系的な収集・充実、適切な保存、デジタルアーカイブの推進・活用
	2. 調査・研究の充実 (学芸員の人材確保・養成等)	専門性を高める取組み、人材確保、成果を伝える出版物の発行
	3. 展覧会・教育普及の充実 (特別展・収蔵品企画展のあり方、手法等)	特別展・企画展の充実、他館との連携強化、展示環境の整備、PRスペースの確保、学校教育との連携、美術に親しむ機会の提供
→ 根幹・本質を伝える	4. 伝えたい人に「伝わる」広報・発信	市広報への掲載、SNS等の充実、関係機関への情報提供、広報資料の提供
→ 地域、社会との多様な関わり	5. 多様な主体との連携協力、 パートナーシップ	教育機関、企業家、和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアム、国際交流機関、医療・福祉機関、他館との連携
→ 根幹・本質を支える基盤整備	6. 地域活性化(地域貢献、交流・来訪促進)	施設を活用した来館者層の拡大、来館機会の創出、インバウンド向けの取組みの展開
	7. 経営、環境、施設整備	収益の向上・確保、来館者数の確保、マネジメント強化と民間活力を活かした運営、多様な主体・機関との連携強化、施設リニューアル

第四章 ビジョン推進のために(重点的取組)

運営ビジョン達成のために、まずは次の5つの項目について先行的に取り組みます。

1. 美術館を知ってもらいより多くの方に来て頂く広報宣伝活動とインバウンド戦略

【取組の一例】 ・大阪・関西万博開催やIRの開業を見据えた展覧会開催と戦略的プロモーションの実施
・浮世絵版画を主力にした展覧会の開催と、対応する展示室のリニューアルの推進

2. 関係機関との連携協力により美術館のリソースを最大限に使いこなす

【取組の一例】 ・美術館を応援し利用する「(仮称)企業家プレミアムクラブ」や桃山学院大学と「(仮称)キャンパスメンバーズ制度」の創設検討
・小学校の美術館活用プログラムや中学校美術部とのコラボ事業の検討

3. リニューアルの推進により、収蔵品を最大限活かした展覧会の開催と次世代につなぐ美術館

【取組の一例】 ・リニューアル基本構想の策定 ・ふるさと納税など資金確保やその他の収益確保

4. グローバルな文化財産として、他館との連携強化と世界の美術館との交流促進

【取組の一例】 ・国内美術館とのこれまでの繋がりを基に次代を担う学芸員とのネットワーク構築、展覧会開催や防災協力などの幅広い連携
・海外の美術館で実施した調査や交流内容を広く伝え、その成果を美術館運営に活かす

5. 組織マネジメントの強化と効率的で効果的な運営へ

【取組の一例】 ・市学芸員による調査・研究・収集・展覧会業務の充実及び多様化するニーズへの取組
・施設管理業務や広報業務を専門性のある民間事業者への一括発注など、美術館運営を担う一般財団法人和泉市文化振興財団の職員が直接行う業務の整理